29 01 02 01 11 001

事務事業評価表

1．基本事項

作成日　令和04年01月18日（火）

事務事業	防災施設整備維持事業	担当課	総務防災課	担当係	防災係	管理番号	2909
第2次総合計画		事業区分	■ 自治事務	□ 法定受託事務 →	対象拡大 有□ サービス拡充 有□		
行政計画施策分野別名 大項目	200004 安心とやすらぎを感じられるまち（暮らし・環境）	根拠法令個別計画等	災害対策基本法、深谷市地域防災計画				
中項目	200001 備えができ、安全・安心なまちづくり						
小項目	200001 災害に強い防災体制の推進						

事業概要	防災倉庫の維持管理及び災害対応に必要な資機材、食料等の管理・購入を行うことで、災害時における市民の安全と必要最低限の食料を確保するものである。また、市民や職員に対し情報を周知・伝達するため、防災行政無線等の維持管理を実施するものである。
目的 ※何のために	災害時に市民の安全を確保するため
対象 ※誰・何を対象に	防災倉庫及び防災行政無線
手段 ※どのように	防災倉庫及び備蓄品の維持・管理並びに防災行政無線の維持・管理を実施し、情報の周知、伝達を行う。
成果 ※何を求めるか	地域防災拠点及び防災行政無線の機能維持
執行体制	■ 市職員　■ 一部委託　□ 全部委託　□ 指定管理　□ 市民ボランティア　□ NPO 民間団体　□ その他（　　）

事務事業を構成する予算事業

会計区分	款		項		目		細事業名	前年度決算額（円）
一般会計	02	総務費	01	総務管理費	11	災害対策費	防災施設整備維持事業	61,041,029
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0
	00		00		00			0

本事業の主な業務

・ 防災行政無線の維持・管理	・
・ 保守点検業務委託	・
・ 防災倉庫及び備蓄品の維持・管理	・
・	・
・	・
・	・

2．事業費（投入コスト）

単位：円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画		防災倉庫及び備蓄品の維持・管理	防災行政無線保守点検業務委託	防災行政無線保守点検の拡充	防災行政無線の新庁舎移設工事		
			防災倉庫及び備蓄品の維持・管理	災害備蓄品の補充			
			Ｊアラート装置更新工事				
事業費	予算（現額）	8,434,000	22,886,000	27,522,000	101,819,000	22,102,000	28,915,000
	決算額	5,778,002	19,733,070	25,079,555	61,041,029	0	0
財源内訳	国支出金	0	0	0	13,425,000	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0
	地方債	0	5,800,000	0	4,700,000	0	5,500,000
	他特定財源	568,000	961,939	1,058,529	1,012,581	28,000	28,000
	一般財源	5,210,002	12,971,131	24,021,026	41,903,448	22,074,000	23,387,000
人件費	従事職員数（人）	0.85	0.90	0.90	1.35	1.45	1.45
	人件費相当試算 ※1	6,612,150	7,003,800	7,074,900	10,997,100	11,797,200	11,797,200
		0	0	0	0	0	0
（総事業費試算）		12,390,152	26,736,870	32,154,455	72,038,129	33,899,200	40,712,200

※1　人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

事務事業評価表

３．評価指標

グラフ表示	区分	指標名		単位	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標なし
		年度別目標値の設定根拠									
		実績値の出所・算出式									
□	活動指標１	備蓄食糧数	目標値	食	85,000.00	65,000.00	70,000.00	75,000.00	80,000.00	85,000.00	□
			実績値		60,498.00	60,568.00	72,298.00	71,730.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		地域防災計画の１５２，３００食が目標値							
		現数＋５，０００食									
□	活動指標２	防災行政無線保守点検数 保守点検箇所件数	目標値	箇所	0.00	93.00	93.00	93.00	93.00	93.00	□
			実績値		0.00	95.00	93.00	92.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		消防本部、市役所、子局（２７６局に再送信局２局を含む）、Ｊアラート							
		保守点検箇所総数２７９箇所									
■	成果指標１	備蓄食糧の充足率 備蓄食料数÷１５２，３００食	目標値	%	55.81	42.68	45.96	49.24	52.53	55.81	□
			実績値		39.72	39.76	47.47	47.10	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		備蓄食料数÷１５２，３００食							
		備蓄食料数÷１５２，３００食									
■	成果指標２	防災行政無線放送回数 迷い人、詐欺、熱中症、防犯等	目標値	件							■
			実績値		183.00	261.00	263.00	271.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠		発生事例により放送するため事前に目標値を定めるものではない							
		発生事例により放送するため									
□			目標値	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									
□			目標値	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	□
			実績値		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
		年度別目標値の設定根拠									

４．観点別評価　（A：目標値どおり（以上）　B：ほぼ目標値どおり　C：目標未達成　－：目標値の設定がないもの）

活動 （意図した活動を行っているか）	B	目標が設定できないものは、活動指標の数値の推移を説明 備蓄食料数は目標値をやや下回ったものの、防災行政無線保守点検数はほぼ目標値どおりであるためＢ評価とする。
成果 （意図した成果が上がっているか）	B	目標が設定できないものは、成果指標の数値の推移を説明 備蓄食料の充足率はやや目標値を下回ったものの、前年度の実績をほぼ維持できているためＢ評価とする。
効率性 （効率的に事務を行っているか）	-	目標が設定できないものは、効率指標の数値の推移を説明
		評価者　防災係長　小川　和成

５．前年度改善改革プラン達成状況

前年度 改善・改革案	・令和２年度においては、新型コロナウイルス感染症の感染予防対策として、避難所となる防災施設にマスクやアルコール消毒液、体温計、フェイスシールド等を配備する必要がある。
達成状況 及び その効果	・避難所となる防災施設にマスクやアルコール消毒液、体温計、フェイスシールド等を配備し、避難所担当職員に対して使用方法や設置個所等の説明を行い、災害に備えた。

事務事業評価表

６．所属長評価（今後の方向性）

事務事業	防災施設整備維持事業	担当課	総務防災課	担当係	防災係	管理番号	2909

■ ① 現状のまま継続
□ ② 見直して継続 → □ 委託化等の検討 / □ 成果向上のための改善 / □ 効率化のための改善 / □ 事業規模の縮小 / □ 他の事務事業と統合
□ ③ 拡充・重点化（コスト投入）
□ ④ 目的達成による終了
□ ⑤ 廃止を検討

評価の内容説明

備蓄食料数については、今年度の地域防災計画の改訂に合わせて、必要となる備蓄数の見直しを行う必要がある。
防災行政無線については、問題なく市民に情報伝達ができていることから、引き続き保守点検や維持管理を適切に実施していく。

評価者	総務防災課長　菅原　孝一

上記を実施するための具体的な取り組み内容は？

７．改善改革プランと今後の課題

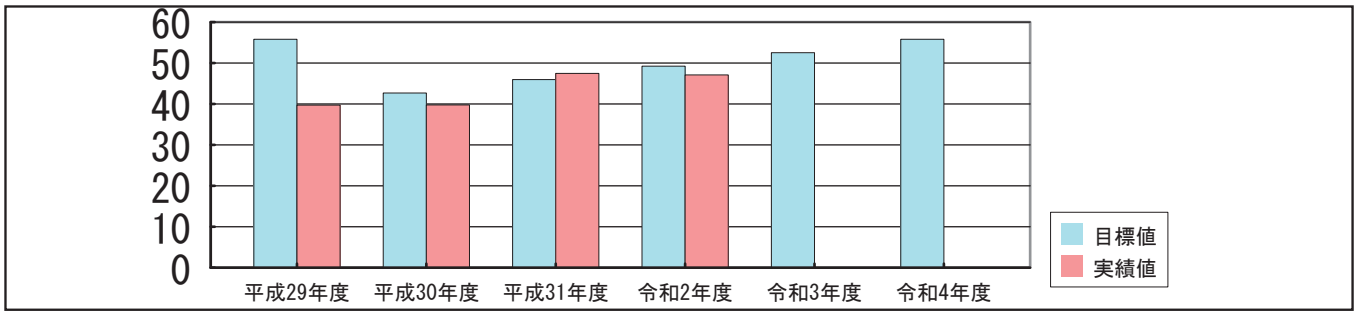
改善・改革案	・令和３年度の地域防災計画の改訂に合わせて、必要となる備蓄食料数も見直し行うため、食料の備蓄計画を見直す。

８．今後の課題（年度別計画等により実施する取り組み等）

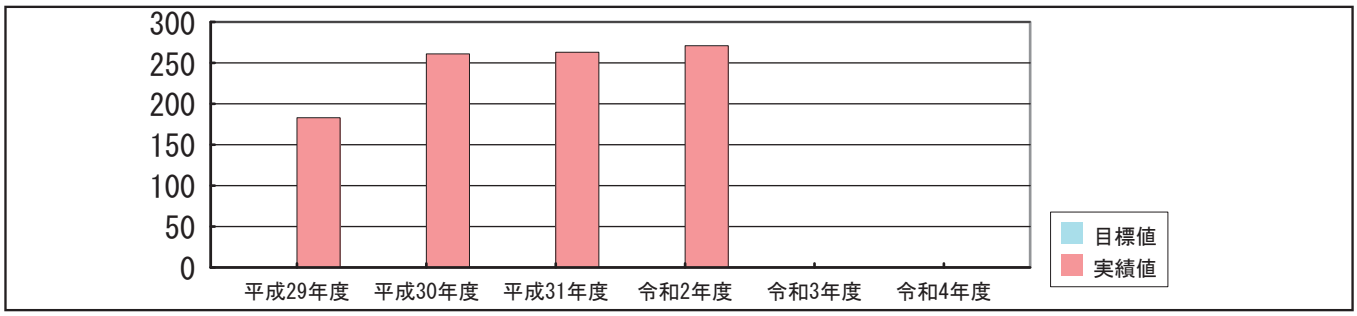
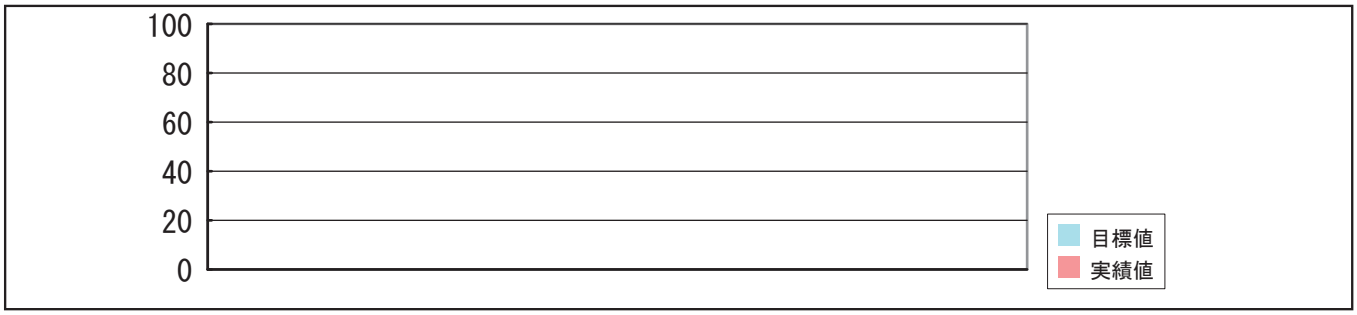
今後の課題	・要配慮者や車中泊避難者に対応する物資など、新たに必要な備蓄物資が増えてきているため、優先順位を決め、不足する物資は協定により確保するなど、備蓄計画を見直す必要がある。

９．評価指標グラフ

区分	成果指標１	指標名	備蓄食糧の充足率備蓄食料数÷１５２，３００食



区分	成果指標２	指標名	防災行政無線放送回数迷い人、詐欺、熱中症、防犯等



区分		指標名